

【 議 事 録 】(概要)

実施日時 令和2年8月3日(月) 18:30～20:15

会議名	越谷市総合振興計画審議会 生涯学習部会 第1回会議	会場	越谷市役所本庁舎5階 第3委員会室
件名/議題	【越谷市総合振興計画審議会生涯学習部会 第1回会議】 1 開会 2 議事 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画(素案)について 3 その他 4 閉会	資料:(<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)	
出席者	<委員>(8人) [1号委員] 加藤肥昭委員、中村讓二委員、森春男委員 [2号委員] 小倉繁委員、三田礪三委員、深野弘委員 [3号委員] 齋藤大輔委員 [4号委員] 石川洋子委員 <事務局>(3人) 市長公室政策課:濱野副課長、荒井主事 策定業務支援者:ランドブレイン株式会社(1人) <職員>(10人) 渡辺教育総務課長、木村生涯学習課長、前田科学技術体験センター所長、 八木下スポーツ振興課長、横山図書館長、紺野学校管理課長、小野寺学務課長、 佐々木指導課長、石川給食課長、齋藤教育センター所長 <傍聴者>(0人)		
欠席者	なし		

越谷市総合振興計画審議会 生涯学習部会 第1回会議 会議録概要

＜越谷市総合振興計画審議会 生涯学習部会 第1回会議＞

1 開会

政策課荒井主事の司会により越谷市総合振興計画審議会生涯学習部会 第1回会議を開会。
第5次越谷市総合振興計画基本構想（素案）答申について、事務局から報告。
中村部会長よりあいさつ。

2 議事

・傍聴者の確認（傍聴者なし）

(1) 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）について

- ・事務局から、分野別計画・大綱6について説明を行った。
- ・部会長より、審議の進め方について、大項目ごとに進める旨委員に確認し了承を得た。

1) 大項目6-1について

(部会長) 大項目6-1について、何かご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

(委員) 学校教育や地域の中で、今後5年間に起きるのではないかというような不安要素や問題点などがあれば教えて下さい。

(指導課長) 新学習指導要領等では、今後一層社会の変化が激しくなってくるだろうと言われていの中で、子どもたちが自ら主体的に課題を見つけて取り組む力をいかに育てていくかが、1つの大きなテーマとされています。教育基本法の改正においては、良い教育のためには学校だけでなく、地域や家庭と学校がいかに連携していくかが大きな課題とされています。これらを包含した形で「めざす姿」としてこのような目標を立てているところです。例えばIT化や情報化、貧困家庭、外国籍児童生徒の増加、少子化などは、越谷市においても全て例外なく問題になってくるだろうと理解しております。

(委員) 外国籍の子どもたちが言葉の壁で学校に行けないというような問題はありますか。

(指導課長) 外国籍のお子様については、住民登録が入り次第、必ず就学についてのお声かけをしております。まず、学務課の窓口で充分にご説明をしてから日本の学校に受け入れます。また、越谷市では日本語指導員制度を設けており、お子様がより早く学校に慣れるように、手厚く対応を進めております。そうしたことから、現状として、外国籍のお子様だから就学に困難を生じているという状況はないと把握しております。

(委員) P119、小中一貫型小中学校の整備校数の目標3校をもう少し増やすことはできませんか。

(学務課長) 小中一貫教育については、まだ仮称ですが、蒲生学園、川柳学園、明正学園ということで進めております。これまでの第1期4年間で、学力向上や中一ギャップの解消等、一定の成果を得ております。その中の取組みの1つとして小中一貫校を考えております。今、この場で学校名などを具体的に示すことはできませんが、小中一貫教育の延長上に小中一貫校というものを今後も考えていくということで、今、整理しているところでございます。

(委員) これからの計画として、もっと増やす必要があると思います。是非ご検討ください。

(学務課長) ご意見として参考にさせていただきます。

(委員) P118の指標に「全国および埼玉県学力・学習状況調査において、平均正答率を上回った教科区分数」の現状値が17教科区分で目標値が18教科区分とありますが、上回っていない1教科区分は何ですか。

(教育センター所長) 上回っていない1教科区分が何であったかは後ほど調べさせていただきます。

現状として、本市が全国と県の平均を超えている割合は、平成27・28年度が約63%、29・30年度が77～81%と徐々に上がってきており、平成31年度で94%に近い18項目中17項目が全国や県を超えているという状況です。

(委員) 指標の下に「中2・3英語の14教科区分」とあるので、中1の英語かと考えたのですが。

(教育センター所長) 全国と県の調査項目に中1の英語は入っていませんので、中1の英語の点が足りなかったということではありません。

(委員) 学習塾に行っている子と、行けていない子との学力の差はどうか。

(指導課長) 学習塾の利用による学力の差については調査していないので詳細はわかりません。家庭学習については、イーボード等を活用してどの家庭の子どもたちに対しても様々な学習が行えるシステムを導入しています。また今後は、1人1台のタブレット導入などを検討しています。これらも含めて、より一層の家庭学習の充実を図っていかねばと考えております。

(教育センター所長) 家庭学習の基本は学校からの宿題ですので、学習塾に行っている子はそれ以上に勉強していることとなります。イーボードというのは、インターネット上で問題の解き方の動画を見てから練習問題を解いていく学習システムです。越谷市では、子どもたちが家庭で宿題以外の学習も行えるように設定しています。ただ現状としては、全ての家庭にICT環境が揃っているとは言えない状況もあります。現在、文科省では、1人1台の端末を子どもたちに配布する「GIGAスクール構想」を進めております。学力差が生まれないように、越谷市も各家庭に端末を配布できる方向で急ぎ進めているところです。

(指導課長) 越谷市では、放課後等に子どもたちの学習を支援する「こぼと塾」という制度も設けています。全ての学校にある訳ではありませんが、そうした取組みも行っています。

(委員) 「こぼと塾」は、今後拡大していく予定ですか。

(指導課長) 今はまず、現在ある活動を継続していこうと考えております。

(委員) 今話された内容については、この大綱に記載されていなくてよろしいのでしょうか。

(教育総務課長) 教育委員会では、現在、総合振興計画と並行して教育振興基本計画を策定しています。総合振興計画は市の最上位計画ですので、ある程度大きな括りの表現とし、イーボード等の細部については、教育振興基本計画の方で記載していきたいと考えております。

(委員) P119の「越谷教育」とは、どういうものですか。

(指導課長) 小中一貫型小中学校の整備に伴い、これまで5年間積み重ねてきた小中一貫教育の充実・発展ということを考えています。小中学校での指導カリキュラムにおける4・3・2制を視野に入れた「9年間の学びの連続制」を作り出すような取組みや、新学習指導要領で「社会に開かれた教育課程」と謳われているようにコミュニティスクール等の地域の教育力を学校の中に取り込みながら社会に参加・参画できる子どもたちを育てる教育を目指す取組みなどを考えています。

(委員) 大綱6には小中学校からの教育は入っていますが、就学前の教育については、子育て部分(大綱2)にもあまり入っていません。教育の連続性には幼児教育も含めた0歳からの教育の底上げが必要です。ITを活用するなど子ども1人ひとりを0歳から追えるような一貫的な教育というものを盛込むべきだと思います。

(指導課長) 幼児教育との接続については、第5次総合振興計画には表現されていませんが、615「自立する力を育む」の枠組みとして、第3期の教育振興基本計画の方に「幼児教育から小学校教育への円滑な接続が図られるよう、教職員等が研修や交流を通して相互理解を深める」ということで、幼稚園と小学校、保育所・認定こども園と小学校の連携の推進について触れる考えでおります。

(委員) 虐待の問題はありませんか。

(教育センター所長) ゼロではありません。教育の場で気づきがあればすぐに市へ通報いただき、児童相談所へつなぐ体制です。養護教諭や管理職を中心に発見の仕方などの研修を実施し、子どもたちの変化については教育委員会としても確認するという形で、現在取り組んでいるところです。

(委員) そこに乳幼児期も含める必要があると思います。

(委員) 虐待については、保健サービスで実施している1歳6ヶ月や3歳児、就学前などの健診が発見のタイミングとなるのかなと思います。また、学校では入学前の健康診断があります。

(委員) そうした情報を外部に漏らさず踏襲し、切れ目なく見守ることが大事です。ICTなどを活用して、連続性を持って取り組んでいただきたいと思います。

(委員) P120の614「健やかな体を育む」について、今の子どもたちは昔と違い、外遊びが少なくなっていると感じます。体力向上のための具体策としてはどんなことがありますか。

(指導課長) 体育の授業改善に取り組んでいます。昔の体育では一斉に逆上がりを習得させるということがありましたが、今は、子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しめるようになることを目指して、1人ひとりが自分で決めた目標値に向かって取り組むことで運動に自ら慣れ親しんでいくことを重視する授業を行い、改善を図ってまいります。

(委員) 中学校では体育系の部活動が少なくなっています。子どもたちの体力向上のため、部活動を活用してはどうでしょうか。また、計画書にもこのことを盛り込むべきだと思います。

(指導課長) 部活動の重要性は認識していますが、部活動だけに頼るという時代ではなくなってきていますので、教育委員会としては、今後は授業の充実での対応を進めていきたいと考えています。文部科学省からは部活動に専門の指導員を入れる方向性も示されていますので、部活動へのサポートは今後も継続してまいりたいと考えています。

(委員) P118課題の3つ目2行目に「安心安全で快適な学校環境の整備」とあるが、市の将来像などと同じ「安全・安心」に統一したほうがよいと思います。

(委員) 現在、越谷市では平和教育のための派遣事業を実施中です。全国的にも珍しい取組みと聞きますが、教育委員会としてこうした取組みを大綱6に記載しないのは何故ですか。

(指導課長) 平和教育については、大綱1の125「平和を愛する心を継承する」においても、教育分野からも関わる形で推進しています。また、大綱6では、613「豊かな心を育む」の中に人権教育等とともに包含されているものとご理解下さい。

(委員) これまでに、小中一貫校を3校よりもっと増やすべきというご意見、就学前教育からの一貫性をというご意見、部活動を含めた運動に親しむ環境整備をというご意見などをいただきました。他に何か皆様から、学校教育で取り組むべきことなどのご意見はありますか。

(委員) P121の616「質の高い教育環境を整備する」の中に地域とのつながりという視点が無いのが気になります。昔は校長の異動時には地域へ挨拶に回るのが当たり前でしたが、今は校門を掃除する住民すら素通りです。地域住民は学校の騒音や砂埃などを受け入れながら暮らしています。学校側に地域とのつながりを持つ姿勢がなければ、地域が学校を見る目も厳しくならざるを得ないと思います。

(指導課長) 今回の計画では、地域や家庭とのつながりをむしろ重視しています。611「9年間を見通した越谷教育を推進する」にはコミュニティスクールの活用で地域と学校とのつながりを深めるという施策が入っていますし、616「質の高い教育環境を整備する」

の2つ目の柱にも「保護者・地域と連携した地域全体で子どもを見守り育てる学校づくり」という取組みが入っています。越谷市では、今年度から地域の代表者を交えた「学校運営協議会」を全校で設置し、学校教育に地域の意見を取り入れる取組みを始めています。「地域人材を活用した活動の推進」として、地域の方々により一層学校教育の中に入らせていただくことも新たな取組みとして盛り込んでいます。もしご近所の学校等で不都合がありましたら、是非校長先生へお話いただければと思います。

(委員) 先生側から地域に入ってほしいという要望です。「地域側から何かあれば聞く」というのは少し違って聞こえます。

(指導課長) 学校運営協議会は学校側が組織していますので、今後は学校側から地域への働きかけが一層強くなるとご理解下さい。

(委員) 学校評議員について、今はPTA経験者や元教職員がほとんどです。昔は自治会長など地域側も入っていました。評議員が身内ばかりでは客観性に欠けると思います。

(指導課長) 今年から設置した学校運営協議会には自治会の代表者に入らせていただいています。

(委員) 以前の会議で、地区をいくつかに分けて課題を検討していると聞きました。そういう場では小中学校が核となるので、そこを前面に押し出していけばスムーズに進むと思います。

(部会長) いろいろなご意見を頂きました。他にないようでしたら、6-2に移りたいと思います。

2) 大項目6-2について

(部会長) 大項目6-2について、何かご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

(委員) 市民文化祭について、コミュニティセンター解体後の開催拠点を教えてください。

(生涯学習課長) 市民文化祭は、令和5年度までコミュニティセンターで開催し、建替え期間中については、代替会場の使用や分散開催などを検討している段階です。教育委員会が単独で行う事業ではないため、関係各所と調整しながら検討を進めて参ります。北部や中央の市民会館、公民館などを活用し、皆様の活動の成果を発表する場を確保していきたいと考えております。

(委員) 文化祭の日程が中央と各地区とで重複していたため、1週間ずらすよう提言し、そのように開催されましたが、成果はいかがですか。参加者同士の軋轢などは解消されましたか。

(生涯学習課長) 日程に対するご意見を踏まえて、こちらからは市民文化祭の日程を予め情報提供し、可能であれば重複しないよう調整してほしい旨のご案内をした結果、今の状況にあるのかと思います。それに対するご意見等は特に届いておりません。日程が重複しなくなった分、参加される皆様が他の活動を見に行く余裕は生まれたのではないかと思います。

(委員) 「市が主催する各種学級・講座の参加者数」の達成指標が、現状値約3万人に対し目標値19万人というのは、達成できるのでしょうか。

(生涯学習課長) わかりにくくて申し訳ありません。現状値は単年度ですが、目標値は累計で示しています。大きなイベントでは天候などの影響で突発的に参加者が激減することがあるため、ばらつきが出やすい単年度で成果を測るのではなく、累計で測ることとしています。

(委員) 累計とは、5年間の累計ですか。

(生涯学習課長) 現状値の3万人弱というのは令和元年度の実績値ですが、こちら、後半は新型コロナによるイベント中止等の突発的影響を受けたため、目標値の設定は、前年の平成30年度実績の3万8千人×5年で算出しています。今後の修正でよりわかりやすい表記に調整していきたいと思います。

- (委員) 生涯にわたる学びの充実という観点で、越谷市は人口規模の割に歴史資料が散逸しています。開宿420年の歴史を踏まえ、収集した歴史資料などを展示する施設の設置をこの計画に盛り込むべきです。国指定史跡のさきたま古墳群ですら、かなりの部分が消失しています。市の考えはいかがでしょうか。
- (生涯学習課長) P126の622の3つ目に「文化財の調査・保存・活用事業に努めながら市史編さん事業を見据えるとともに、事業の拠点となる郷土資料館の設置についても検討します」と記載しています。現在は旧荻島公民館や旧東方村中村家住宅などに分散している歴史資料を、一括収集展示できるような郷土資料館を今後整備できればと考えております。計画に位置づけて引き続き検討を進めて参ります。
- (委員) 以前の市長の頃に市史編さん室ができましたが、学芸員は今何人いますか。
- (生涯学習課長) 市史編さん専門の職員はいません。
- (委員) 中村家住宅がある見田方遺跡公園や、各お寺のご本尊に価値あるものもあります。図書館などには市民が寄贈した歴史資料もあります。そうしたものも含めて系統立てて市民に見せるという方向性を大綱6の中に示すべきだと思います。
- (委員) 散逸資料の収集に対する取組みが計画に見えていないというご意見かと思えます。
- (生涯学習課長) 622の中項目では簡潔な位置づけとなっていますが、今後、教育振興基本計画の方では具体的に調査収集などを位置づけて進めて参ります。
- (委員) P125の「生涯学習関係団体と連携した事業数」の「累計450事業」も、5年の累計ですか。
- (生涯学習課長) はい、こちらも5年間の累計値です。
- (委員) 621「生涯にわたる学びを進める」の3つ目に「北部地域における図書館機能の強化について検討する」とあります。北部の住民は線路に分断されており、北部市民会館や図書館を利用するのが非常に困難です。市として線路の高架化を推進するよう要望します。
- (委員) 大綱6には直結しませんが、位置づけの問題や利用するための交通手段なども含めて総合的に取り組まないと利用者が増えないだろうとのご意見として理解しました。
- (委員) 私はレイクタウン地区で育つ子どもたちが10年後にどう育つのかをよく想像します。6-2には、子どもがわくわくするような、夢を持って人生を謳歌する大人の姿が見えません。6-1で子どもたちに「自ら夢や希望、目標を持って」育つことを促していますが、そことのつながりで、成長した先に目指したい大人の姿を6-2に盛り込めないでしょうか。例えば、子どもが目指している職業を実際にしている大人に出会えるとか、子どもが将来の夢に近づくための勉強ができる場などを生涯学習に入れられませんか。
- (生涯学習課長) 各地域にある公民館では、幼少期も含めて年代に応じた講座などを、工夫を凝らして実施しています。職業体験的なものや、世代間交流ができるものなどもあります。6-2の課題にある「子どもから高齢者まで幅広い世代が継続的に学習できる機会を」の文章には、小さなお子さんでも興味を持てるような取組みをしたいという意味合いが含まれています。いただいたご意見は、教育振興基本計画の方に持ち帰って検討したいと思えます。
- (委員) 見えにくいけれど含まれている内容があるという説明でした。夢を感じるワクワク感がほしいというご意見について、他の皆さんはいかがでしょうか。
- (委員) 郷土芸能の継承について、桜井南の獅子舞や荻島小の大囃子のような活動は他にもありますか。大人と子どもと一緒にできる行事として郷土芸能は大変良いと思います。
- (委員) 学校ではありませんが、北川崎地区には虫追いがあります。
- (生涯学習課長) 郷土芸能祭に参加している団体としては、大相模小学校と荻島小学校でお囃子、越ヶ谷小学校の木遣、桜井南小学校の獅子舞、南越谷小学校の阿波踊りがあります。そ

それぞれの学校で地域の指導者が継承、育成しています。

(部会長) ほかにご意見がなければ、6-2については以上とさせていただきますが、よろしいでしょうか。それでは、6-3に移ります。

3) 大項目6-3について

(部会長) 大項目6-3について、何かご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

(委員) 地区対抗のソフトボール大会について、江戸川の河川敷ではなく、市内でできればもっと応援も増えて盛り上がると思うのですが、どこかで近くで開催できないでしょうか。

(スポーツ振興課長) 同様の要望は各地区からいただいております。現在、市民体育祭のソフトボール大会は、江戸川河川敷や草加市の球場を借りて、9面ほどを使って実施しています。女子の部であれば飛距離もないので多目的運動場や小学校グラウンドなど市内での開催も可能ですが、その場合、男子と別日程となるため日程確保が難しく、複数会場にまたがるので1日で全試合を消化できない問題があります。実際に多目的運動場を中心に具体的に検討しましたが、地域からは、男女の日程が分かれるのは調整が難しいとのことのご意見でした。

(委員) 私も毎年応援に行っていますが、地区大会では13チームが出ますから、球場を9面使っても丸1日かかります。

(委員) 越谷市はスポーツ・レクリエーションに一貫して取り組んでいますが、設備が追いついていないとのことのご意見でした。

(委員) 市民体育館について、一部は建て替え予定ですが、いずれの施設も古く、ドアがきしむ、バレーボールのポールが錆びるなど、設備が古くなっています。維持管理や改修などをもっと進めてほしいと思います。

(委員) 体育館やグラウンドはあるのが当たり前なのですが、現状ないものは仕方ありません。近い将来に作っていただけることを願うのみです。

1つ質問です。今あるいろいろなスポーツ・レクリエーションに、次の世代が参加してこないという問題があります。こうした問題に対して、どういう取り組みをしていきますか。地域でも何とかしたいと考えていますが、マラソンを沿道で応援していても、周囲に同世代しかいないというのが現状です。

(スポーツ振興課長) 体育館は老朽化が進んでいますが、利用中の方も多く、一定期間閉鎖しての大規模改修はなかなか実施できない状況です。「主要体育施設のアンケート満足度」という指標についても、施設は古いままですが、職員の対応などを通して利用者に満足していただけるように努めて参ります。若い世代の参加については、市政世論調査の結果でも高齢者の半数以上が週1回以上運動をしているのに対し、30~40代の運動参加率が低いという結果が出ています。子育て世代には、週末開催のスポーツ講座や、親子参加の軽いウォーキング大会などで、参加のきっかけづくりに取り組んで参ります。各地区のスポーツ・レクリエーション推進委員会や自治会などにもご協力いただき、地域の大会に周囲の方を誘って気軽に参加していただくような取り組みをお願いしております。また、Bリーグの越谷アルファーズのホームゲームの開催や、西武ライオンズとのフレンド協定、各なでしこリーグとの支援協定等を進め、プロスポーツの観戦をきっかけに親子でスポーツを始めるなど、若い世代がスポーツに取り組むきっかけづくりをし、運動に親しむ世代を広げていきたいと考えております。

(委員) プロスポーツを見る目的がその先にあるということ、これからのスポーツ人口を増やすこと、世代を広げることへの市の意気込みを、どこかに入れてほしいと思います。

(委員) 市民体育祭中央大会につながる地区の体育祭を開催するのが難しくなっています。新方地区は高齢化率36.2%で1/3以上が高齢者です。各競技の選手がなかなかいませ

ん。地区対抗に参加できない自治会が多く、寂しい大会となっています。もっとレクリエーション寄りの競技や高齢者向けの競技を導入するよう要望します。

(スポーツ振興課長) 種目につきましては、中央大会の予選を兼ねるためレクリエーション的な種目が増やせない状況は聞いております。どちらの大会も、1～2自治会を除き、多くの方に参加して頂いている状況とも聞いています。大相模地区については、レイクタウンの自治会がチームを結成して活躍している事例もあります。地区大会は地域のコミュニティづくり、運動を通じた健康づくりが主体と考えております。種目については各地区で創意工夫して実施していただければと思います。

(委員) 桜井地区では40以上の自治会のうち9自治会しか大会に出ていませんが、子ども会と協力してプログラムをつくり、野球やサッカーなど各競技に子どもたちを参加させることで、親も含めて3～4倍の動員となりました。地域を盛り上げることで有効かと思えます。

(スポーツ振興課長) 桜井地区では、地区体育祭ではなくスポーツフェスティバルという名称で、学校や子ども会、スポーツ少年団などを交えて独自の体制で開催しています。色々な方が参加できて活性化する1例として他地区へも紹介し、より良い地区大会にしていければと思います。

また、中央大会については自治会連合会も含めた構成団体でよく話し合い、数年後を見据えたより良い開催方法を検討していきたいと思えます。

(委員) 地区大会の参加者は保険に入っていますが、小学校のグラウンドで野球の流れ弾が他の子どもの目に当たり、治療に立ち会った自営業の親から休業補償を求められたケースがありました。学校開放中の事故への保証というのはどうなっていますか。

(スポーツ振興課長) 市主催イベントの参加者は市の保険対象ですが、観客については対象外です。体育協会やレクリエーション協会などが主催する場合は、主催団体ごとに入る保険で対応します。学校開放中の事故については、学校施設に起因するものは保険対応が可能ですが、利用者が起こした事故については、市の監督下ではないため保険対応は難しいと思えます。そのため、スポーツ少年団にはスポーツ保険への加入を呼び掛けて、事故等に備えています。

(委員) 第4次の計画書でスポーツ・レクリエーション活動の状況について見たところ、平成26年の市政世論調査の結果「行っていない」が37.7%となっていました。一方、「今後行ってみたいレクリエーション活動」のトップにはウォーキングが挙がっていますので、提案として、越谷市で有名な苺を使って「ウォーキングしながらイチゴ狩り」というのはいかがでしょうか。地域との連携も必要ですが、6-3を推進する第1歩になるかと思えます。

(スポーツ振興課長) 令和元年度の調査で「行っていない」の調査結果は31.1%に下がりました。「行っている」については39.2%から42.5%に上がり、データとしてやや改善がみられます。どちらかと言うと個人スポーツの方が気軽に取組めるということで、先ほども30～40代を取り込むための親子参加型のウォーキング大会の話が出ましたが、市に限らず各種スポーツ団体やコミュニティ推進協議会の中でも地区のウォーキングに取り組んでいます。そうした成果が数値に表れているのかと思えますので、引き続きウォーキングなどの手軽に取り組める運動ということを念頭に進めていきたいと思えます。

(委員) プロスポーツ選手を育成することよりも、生涯スポーツの前提は「歩けること」なので、まずはウォーキングに特化することを提案しました。

(部会長) 他にご意見がないようでしたら、6-3については審議終了とさせていただきます。

4) 全体を通して

(部会長) 最期に全体を通してご意見等がございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

それでは、皆様のご意見を事務局の方で取りまとめたうえで、報告書(案)が示されますので、それをもとに次回また質疑していただきたいと思います。

以上で審議を終了いたします。事務局にお返しいたします。

3 その他

事務局から次回、部会2回目の会議は8月26日(水曜)午後6時半から、同じく第3委員会室で開催する旨説明。

4 閉会

石川副部会長より閉会のあいさつ

政策課荒井主事の司会により越谷市総合振興計画審議会生涯学習部会第1回会議を閉会

以上

この会議録は、会議内容と相違ないことをここに認め署名する。

令和2年8月26日

越谷市総合振興計画審議会 生涯学習部会

署名委員

小倉 繁
加藤 肥昭
齋藤 大輔